

## 『生涯活躍のまち・つるをつくる会』を開催しました！

本市では、いつまでも元気で生き、らくらく人生を送れるようなまちを目指し、『生涯活躍のまち・つる(都留市版) C R C 構想』事業を推進しています。

この事業の一環として取り組みを進めている『旧雇用促進住宅下谷宿舎(つる5丁目)』を改修し、サードビル付き高齢者向け住宅として活用を図るプロジェクトでは、運営事業者が『株式会社コミュニティネット(東京都千代田区有楽町)』に決定し、開設に向けて準備を進めています。

そうした動きの中で事業の核となるサービスクラス内容や移住後の生活支援、さらには『生涯活躍のまち・つる』全体のまちづくりの方向性について、移住を希望される方から意見を募ることを目的に『生涯活躍のまち・つるをつくる会』を7月20日(木)に開催しました。東京都有楽町の生涯活躍のまち移住促進センターにて話し合いの場を設け、今後1回のペースで開催し、実際に都留市に足を運び視察する会なども設ける予定です。

**問合せ** 企画課 つる創生推進室

### エコサロンも開催しています

市民の方からも意見を募る場として毎月19日に市役所隣のエコハウス(上谷1-2-3)にて『エコサロン』と題し、都留市をより魅力的なまちとするため、『生涯活躍のまち・つる』を実現するための意見交換の場を設けておりますので、興味・関心のある方はお気軽にお越しください。

※開催日は変更となる場合があります。

※参加いただける際には事前にご連絡ください。

### エコサロンに関する問合せ先

エコハウス ☎(56)7511



■初日のつるをつくる会では多くの意見交換がされました

## 8月から新しい地域おこし協力隊員が加わりましたので、ご紹介いたします

くすみのり  
久須美則子 田原地域在住



8月1日より、総務部企画課地域おこし協力隊として着任いたしました。東京都あきる野市に生まれ、秋川渓谷や奥多摩の山々を身近に感じて育ちました。学生時代には西湖のユースホステルで過ごしたこともあり、ここ都留市は私にとりまして大変親しみ深いところです。

都留市の素敵だなど思うところは、桂川に沿って走る富士急行線からの風景で、間近に見える山々に霧が立ち上る朝の景色は、清々しく心が洗われ、今日も元気に頑張ろう！と力が湧いてくる「元気のもと」です。元気と言えば、市役所にある大きな水車が力強く水音を立てる小水力市民発電所元くん1号。まちなかにある大きな水車は、豊かな森と

水のまちのシンボルでしょうか。

私が地域おこし協力隊で行う業務は、都留市が進める『生涯活躍のまち・つる』構想に示される『アクティブリニアの移住受け入れ』です。年を取ってサポートが必要になっても安心して暮らせる場所。仕事や趣味の活動を通して生き生きと暮らし、健康を維持できる環境。まちに暮らす人々が緩やかな繋がりを持ち相互に助け合える仕組みづくり。これらは、移り住んで来た方々だけでなく、市民の皆さんにとっても役立つ大切なものとなるでしょう。

これまで高齢者住宅の相談業務に従事する中で、高齢者並びに高齢期の家族を持つ方々の多様なニーズに直面してきました。高齢期の方々の多くは、体が弱っても最後まで自分らしく暮らしたい、誰かの役に立ちたい、できる限り自分の持ちうる力を社会の一員として生かしていきたいという『願い』をお持ちです。相談業務の経験を生かし、高齢期の方々のニーズの実現化を目指す『生涯活躍のまち・つる』構想を実現するために、市民の皆さんから都留の良いところ、素敵なところを教えてください。住み替えを検討されている方に、ぜひ、住み替えを検討されています。どうぞ、よろしくお願いたします。